

いるふの扉3

おかやさんぽ 区るっと

フルイを温めて古きを
イルフを新しく知る

9 新屋敷区の巻 にぎわいの記憶を道がとどめている

六道の辻から…

新屋敷会館前。
薩摩林忠美区長と菩提樹に
迎えられ…



菩提樹の根もとに
大きな古い道祖神
(向かって右が男神)が

区の記念樹、菩提樹が目をはひく新屋敷会館玄関前で、薩摩林忠美区長、小松國彦元区長と待ち合わせ。この樹のすぐ前に立っている、双体像の道祖神が、今回の区るっとの起点だ。元禄以前の造立年が刻まれている(承応三年甲午年または貞享元年甲子年)、県下でも最古クラスのこの道祖神は、その年代から考えて、村の起源に際し、無病息災などの願いを込めて立てられたのだろう。風雪にさらされ、あるいは欠損して、顔や姿ははっきりわからないものの、破格の大きさが存在感を際立たせている。菩提樹とは、六道の辻からとも引越してきて、以来寄り添うように、仲睦まじくたたずんでいる。



大川通り(表道通り)の両側には住宅が並び、落ち着いた雰囲気



旧関沢川の流路と
思われる路地

かつては、六道の辻が、住民の集いの場であり、信仰の中心でもあった。仏教の輪廻(地獄、修羅、餓鬼、畜生、人間、天上)に由来して名付けられた場所が、ちょうど六叉路とは興味深い。昭和33年、道路の拡張で「正三館(大正3年に建てられた公会所)」が取り壊しになって久しく、昔をしのばせるものは何も残っていないが、大川通りの別名「表道通り」に、参道らしい響きを見だし、この古道を踏みしめ県道(下辰線)方面へ。脇を流れる大川は、江戸時代初期に旧関沢川の流路を変更し、せぎとして引かれた川らしい。下流域が潤ったことで、新屋敷に人が集まったと伝わっている。



六道の辻。明治初期まで修験道の行屋だった円乗院、十王堂、年貢米を納めた村蔵などが、その後は天神様、津島社遷拜殿(ようはいでん)、まきの祝殿などがあつた

訪問 マッサージ

医療保険でマッサージができるのをご存知ですか?

訪問介護員2級以上の資格取得者がマッサージ師と同行いたします。
医療保険が使えるので、ごくわずかなご負担です。
ご自宅や老人ホームまで出張してマッサージをいたします。
保険証の内容により、ご負担は数百円程度です。



営業時間：午前9時～午後6時(月曜～金曜)
※土曜・日曜・祝日は休業

株式会社井口
ワールド治療院 諏訪店

諏訪市大手2-17-12フィットネスクラブA1内
<http://worldtiryoin.com>

あなたのご負担は
数百円程度!

心のケアとしても
最適!

マッサージ師は
全員
国家資格保持者!

安否確認として
ご家族からも
ご支持!



◎医療保険適用外マッサージも承ります。
40分 ¥2,000～

お気軽にお問い合わせください

☎ 54-1216

広告

県道を渡った先で、旧関沢川の流路を確認し、かつての川のうえを歩いて県道に引き返す。



小口家具の建物脇の歴史ある井戸。



マルモのやかんは、本町交差点のランドマーク



水神さまが祀(まつ)られていた



向かって左が、陶芸家、書家でもある小口家具社長の小口登さん。右は地域の歴史に明るい小松國彦元区長

立派な蔵造りが目をひく小口家具の敷地内に井戸を発見。ご当主の小口登さんによると、江戸初期からご先祖はここに住んでいて、初期中山道と木曾街道が交わるこの辻で、茶店をしていたとか。干ばつや飢饉があつても、井戸の水は涸れることがなかったそう。水神さまに感謝し、岡谷病院方面をめざす。

製糸の盛んなころは、区内に24の工場が建ち並び、現在の5倍ほどの人(5千人以上)が暮らしていたとか。商店街の活気はどれほどだったのだろう。花街としてにぎわった岡元町界限には、料亭



春を待ちわびる児童公園(新屋敷会館向かい)

郷愁を誘う坂の路地、高見町通りに、一帯の隆盛を見てきた「神社」がある



鳥居に掲げられた神社看板の文字は、小口登(雪山)さんの筆による



がら、スナックやビルの点在する道を歩き、新屋敷会館に戻る。



と茶屋が18軒、置屋も多く芸妓さんは45人いたという。丘へ駆け上がる高見町通りに、製糸業者や商業者の隆盛を見守ってきた神明社があった。天照大神に恵比寿さまと天神さまが合祀されて、現在は、神明会、高見町、商業会が管理や祭りを引き継いでいる。遠い日のまちのにぎわいを想像しながら、

広告

天気がいいとうれしくなります♪

太陽光発電も岡谷酸素

🌞 すぐと発電開始!!

豊富な取り扱いメーカーから、お宅にぴったり!をご提案いたします。独自のアフターサービスもご用意しております。



☀️ 取り扱いメーカー

- ・ホンダソルテック・長州産業・三菱電機・京セラ
- ・ソーラーフロンティア・シャープ・パナソニック

うちもそろそろ付けようかしら。
岡谷酸素に聞いてみましょう!



おとなりさん、「太陽光発電」はじめたんだって。

岡谷酸素株式会社 岡谷営業所

岡谷市湖畔2-3-7 TEL: 0266-22-4931

「こうずら ほうずら」は市民のみなさんでつくるページです。
 市政や広報に対するご意見や身近な話題など、どんどんお寄せください。
 宛先 ● 〒394-8510 岡谷市役所(住所不要) 広報情報課広報広聴(内線1366)



こえ

**2月の
ハガキから**

▼は広報広聴担当より

昨年(2012年)に続き、今年も「御神渡り」を見に行きました。諏訪湖では、たくさんのカメラマンが大きな望遠レンズをのぞいていたので、わたしもちよつと見せてもらつと…御神渡りの切れ目のうえで、グブルが首を左右に振りながら大きなからだを休ませていました。感動的でした。 K・Nさん(長地柴宮)

▼2年連続で御神渡りが出現しましたね。御神渡りの筋や氷の割れ具合から、過去の記録と照合して占われた今年1年の世相は、「現状は厳しいが明るい兆しあり」とのことです。

さて、おたよりのなかにあるグブルを、みなさんはご存じでしょうか? 1999年、諏訪湖に飛来し

ていたオオウシが衰弱していたところ、これを見つけて保護した日本野鳥の会の林さんが手当てし、グブルと命名したと聞いています。

その後、元氣になったグブルは、翌年以降14年間諏訪湖を訪れ越冬し、今では、地元をはじめ大勢の人に親しまれる存在となりました。ちなみにオオウシは国の天然記念物です。これからも元氣なその姿を見守っていきたいものです。

グブル、来冬も待っていますよ!

新消防署はどうなっているのか、と思つていたら、ちよつと記事が載つたので、よくわかりました。消防署のみなさん、大変なお仕事ですが、これからもよろしくお願ひします。 H・Hさん(東銀座)

▼2月号の消防署の救急の特集では、取材中、救急車の要請に応じ、ときばきと出動する救急隊員の姿を目の当たりにしました。一刻も早く、というその行動には、「救命」という任務の重さと真剣さがにじみ出ていました。わたしたちの暮らしを支えてくれている仕事を理解することで、わたしたち自身も、救急車の適切な利用や、日ごろからできることを考えていかなくては、と感じました。

災害時などに、地域の安全対策の拠点ともなる新消防庁舎は、7月から工事が始まる予定です。来年度も広報では、重要施策の状況などを適時お知らせしていきますので、よろしくお願ひします。

❖❖❖❖❖ 市政モニター通信 ⑳ 《3月担当市政モニター 丸山 一仁さんより》 ❖❖❖❖❖

「岡谷は子育てしやすいまちかどうか」まずその点から述べます。わたし自身1歳から8歳までの4人の子どもがいて、同年代(団塊ジュニア世代)では多いほうです。また、自分が岡谷で育ったこともあり、勤務地は松本ですが、岡谷に家を建てて住んでいます。しかし、同年代の友人たちの多くが岡谷から出て行ってしまう現実を見ています。なぜなのでしょう。

市政モニターになったことで、より市政の中身が見えてきました。市政を身近に感じつつも、配布される資料を見て「なんでこんなに多くの行事があるのだろう」という疑問も生じました。また、岡谷にはいわゆる「箱物」が多く存在します。わたし自身勤務医でもあり、新病院構想については以前から見守っています。率直なところ、病院はあったほうがいいに決まっていますが、5万人程度の人口規模の自治体が、総合病院を持つことに積極的には賛成できません。せめて、下諏訪町も合わせた湖北全体をカバーする市民病院であれば、まだいいかもしれません。

市は、子育て世代にどんなサービスをしているのでしょうか。子どもの医療費を無料化したといいますが、高齢者は1回1,000円でインフルエンザのワクチン接種ができるのに、子どもは数千円

の負担が必要です。保育料も3人目からは9割補助といいますが、この時代、3人子どもを持つ家庭がどのくらいあるでしょうか。

子育て世代に対して、先進的な取り組みをしている自治体があるのかどうか調べてみました。とある自治体では保育園無料化、小学校給食費無料化を行っていました。人口規模は岡谷より若干小さい自治体です。子どもこそ未来の宝であり、子育て世代に住んでもらいたいからこそ、思い切ってこの事業を始めたとのことでした。年間3億円程度の負担でできる、継続可能な事業なのだそうです。全国からの視察も相次いでいるようです。

岡谷の人口は増えていません。人がいてこそその病院。人がいてこそその施設。人がいてこそのお祭りや行事。人が増え集い、はじめてまちが形成されます。同年代の人に「岡谷は住みやすいか」と問えば、圧倒的多数は「住みにくい」といいます。他地域から移住してくるなど論外です。子育て世代が恩恵を受けられるまちをつくらなければ、岡谷に未来はないと思いますが、どうでしょうか。

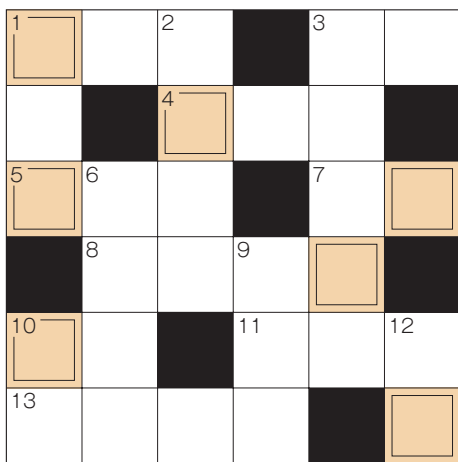
ふるさと岡谷の未来が、明るく幸せであることを祈っている、一市民の意見です。市政モニター通信としては辛口ですが、ふるさとの将来を思つての苦言と思つていただければ幸いです。

脳トレにいかがですか？

広報クイズ No.327
クロスワードパズル

問題

二重枠の文字を並べ替えると岡谷に
関係のある言葉ができます。それを
教えてください。正解者の中から抽
選で5名に、「ロマネット入浴券」をお
送りします。



◆**ヨコのカギ**

- 1 岡谷市発祥の〇〇〇ドッチボール
- 3 小鳥の、水源の、スケートの
- 4 岡山県にある姉妹都市。〇〇〇市
- 5 この公園は皇太子殿下御成婚記念公園
でもあります
- 7 鶏の水炊きなどの鍋料理は、〇〇酢で
あっさり
- 8 大きくなると引越をします
- 10 〇〇久保遺跡
- 11 国道。標識にも書いてあります
- 13 保険などで払い戻しが無いタイプ

◆**タテのカギ**

- 1 〇〇〇盛衰
- 2 温泉のこれも岡谷にはあります
- 3 世界中で遊ばれるボードゲーム。
ちなみに日本協会の会長は糸井重里氏
- 6 国重要文化財。旧〇〇〇〇
- 9 岡谷市民病院でも電子化が
進んでいます
- 10 〇〇村区、〇〇屋区
- 12 照光寺にある蚕霊供養〇〇は
近代化産業遺産でもあります

●応募方法…はがきに**答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号**を明記し、**ひと言**(特集テーマや、市政、広報に対するご意見や身近な話題など)をそえて「〒394-8510 岡谷市役所(住所不要)広報クイズ係」までお送りください。**3月8日必着**。(ひと言は「こえ」に掲載させていただく場合があります)

●**前回(2月号)の答えと当選者**

「おいかわしょう(小井川小)」

正解数40通(応募総数41通)のなかから抽選で、K・Nさん(長地柴宮)、H・Tさん(湊)、M・Sさん(本町)、R・Yさん(神明町)、M・Oさん(田中町)にロマネット入浴券と「うなぎのまち岡谷共通利用券(500円分)」をセットでお送りします。



今井 竜五

まもなく諏訪地方に訪れる美しい春の景色は、それぞれの新しいスタートを祝福、応援してくれるものと思えます。

戦ってまいります。持つてまわづくりに挑戦してまいります。また、全力を

の時期であり、これまで1年間進めてきた施策、事業等のまとめやその効果を検証しながら、同時に、現在開催中の市議会定例会において審議がされている、平成25年度に予定する施策や予算が滞ることなく執行できるよう準備を進めてまいります。そして年度の変わった4月からは、人事異動などによる新しい体制のもと、全力を



【市長随想⑳】
「花の便り」

寒さの中にも日差しの強さや日の長さ、また、

おかや子育て応援協賛店/パスポート事業

(なかの子育て家庭優待/パスポート事業)

おかぼん55ポイントプレゼント券は、今月の配布をもって終了となります。これまで多くのご利用をありがとうございました。これからもおかぼんカードをよろしくお願ひします。

キトリ線
おかや子育て応援協賛店/パスポート事業
(なかの子育て家庭優待/パスポート事業)

おかぼん55ポイントプレゼント券

引換期限：平成25年3月31日まで有効

《おかぼんからのおねがい》

◎本券利用の際は、買い物をしたうえで、必ず「ながの子育て家庭優待パスポート」を提示してください。

- 切り取っておかぼん加盟店にお持ちください。
- お1人様1枚のみ有効

発行：岡谷スタンプ協同組合・岡谷市商業観光課

